



生徒数		
1 年	6 8 名	2 学級
2 年	8 5 名	3 学級
3 年	8 3 名	3 学級
4 組	3 名	1 学級
5 組	3 名	1 学級
合計	2 4 2 名	10 学級

「胡蝶蘭から学ぶ」

職員室前の芝生も青さを増し、様々な草花が花を咲かせ、校庭の木々の新緑も色鮮やかに映える季節となりました。生徒達は新しい学級にも慣れ始め、学級の組織づくりも終え、落ち着いて学校生活を送っています。

私が 7 年前に新任校長として小学校に赴任した時、お祝いの胡蝶蘭をいただきました。本当にありがとうございます。長い間、きれいな花を咲かせ楽しませてくれた後、一つずつ花が落ちていき、やがて長く伸びた茎だけが残りました。この後、しばらくそのままにしてしまった私は、鉢の中にある 3 つの株のうちの 하나가枯れてきていることに気づきました。残りの 2 つの株は何とかしたいと思い、遅まきながら自分なりに調べ、株分けをしてそれぞれの鉢に植え替え花の落ちた茎を下から 3 つの節を残して切りました。その後、毎朝、葉に霧吹きで水を与え校長室の窓際に置いていました。カーテン越しに日を当てていましたが、日照時間が短い部屋のせい、片方の胡蝶蘭の元気ありません。逆に強い日が当たり過ぎたのか黄色くなってしまった葉も見られます。私は 2 つの胡蝶蘭を一日中、日の当たる空き教室に移動させました。しかし、その次の年、その次の年と再び、花が咲くことはありませんでした。校長職として 3 年を終え、異動することになりました。空き教室は次年度教室として使用することになり、そこにあった荷物は新しい教室に移動され、その際に胡蝶蘭は行方不明となってしまいました。自分の無責任さを強く反省し、そのまま異動しました。

本校の校長として再び赴任した時も、お祝いの胡蝶蘭をいただきました。本当にありがとうございます。その胡蝶蘭も長く花を咲かせた後、一つずつ花が落ちて長い茎だけが残りました。私は今度こそ、この胡蝶蘭の花を再び咲かたいと強く思い世話の仕方を詳しく調べました。すると私のやり方が間違っていたことに気がつきました。株分けの際には土ではなくてバーク材という通気性の良い木の破片を使用すること、水やりは 10 日間に 1 回程度で良いこと。明らかにこの 2 点は間違っていました。早速、バーク材を購入して株分けをして節の 3 つ目まで残して、はさみで切りました。

2 年目を迎えた 2 つの胡蝶蘭。今度は見事に 1 つの茎から 10 個以上の花が咲きました。カーテン越しに柔らかな日の当たる窓際に 2 つの胡蝶蘭を置いて大事に育てました。しかし、ここで再び私は失敗します。胡蝶蘭の鉢をどかして雑巾でその棚の上をいつも掃除するのですが、ある時、鉢を倒してしまいました。ゆっくり持ち上げると花の着いている茎が、もげてしまったのです。花の無い長い茎だけの胡蝶蘭が鉢に残りました。かなり落胆しました。気を取り直し、どうにかできないか調べると切り花としてしばらくもつことがわかりました。10 個位の花をつけたもげた胡蝶蘭は切り花として、しばらくもちましたが、やがて全て花が落ちました。折れていないもう一つの胡蝶蘭の花のほうが当然長くもちました。しばらくは花の着いている胡蝶蘭と、もげてしまった長い茎だけの胡蝶蘭が 2 つ並んでいる状態が続き、見る度にもげてしまった胡蝶蘭に「ごめんね。」とつぶやいていました。

2 度目の冬です。今度は冬の校長室の夜はとても冷えるので、窓際から部屋の内側へと每晚、慎重に移動させました。水も 10 日間に 1 回だけにしました。3 度目の春を迎える 3 月初旬、1 つの胡蝶蘭が花を咲かせ始めました。これはどちらの胡蝶蘭かという、もげてしまったほうの胡蝶蘭でした。そして現在、14 個の立派な花を咲かせています。もう一つの方はというと、遅れること 1 月、花を咲かせ始め今は 6 個の花と 11 個の蕾を 3 つの分かれた茎にもっています。また、その間に行方不明となった小学校の胡蝶蘭も、後日ある先生が世話を続けてくれていて花をたくさん付けているのを見て、とても嬉しかったという出来事もありました。

胡蝶蘭はエレガントですが水をあげすぎてもいけないし、日に当たり過ぎてもいけない繊細な植物です。しかし、土なしで育ち、茎から離れても切り花としてしばらくきれいに咲いていることができる、何年か花が咲かなくても条件がそろえば再び、花を咲かせるたくましさも持っていることも知りました。私も一層、胡蝶蘭ことをよく勉強し、

来年もきれいな花を咲かせ、いただいた方への感謝の気持ちをいつまでも忘れないようにしたいと思います。どんなことにも、適切で適度な支援が大切なこと、そしてそれらがうまくかみ合った時に、思った以上の嬉しいことが起こるということも学びました。

保護者の皆様、地域の皆様、今後も、本校の教育活動に対して、変わらぬご理解とご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。